

志賀原子力発電所 2号機 原子炉冷却材浄化系圧力調節弁等の調節不足について

定期検査中の志賀原子力発電所 2号機において、平成 19 年 3 月 30 日、原子炉冷却材浄化系（以下「CUW」という）ろ過脱塩器(B)の逆洗※を行った際に、逆洗が途中で停止し、逆洗に用いている高圧の空気が当該排水受口に排気され、排水受口内の水が飛散しました。飛散した放射エネルギーは約 3 5 5 0 ベクレルであり、飛散した水は拭き取りました。

逆洗が停止した原因は、CUWろ過脱塩器逆洗水圧力調節弁の点検を行った後の復旧において、圧力調節弁及び逆洗水入口弁の開度調節を十分に行わなかったため、逆洗水が通常より多く流れ、逆洗水受タンクの水位が高くなったことによるものです。

今後は、弁の開度調節の手順を明確にし、確実に実施することとします。
外部への放射能による影響はありません。

※ 逆洗：ろ過脱塩器内に、空気と通常とは逆の流れの水を流し、ろ過脱塩器内を洗浄すること。

